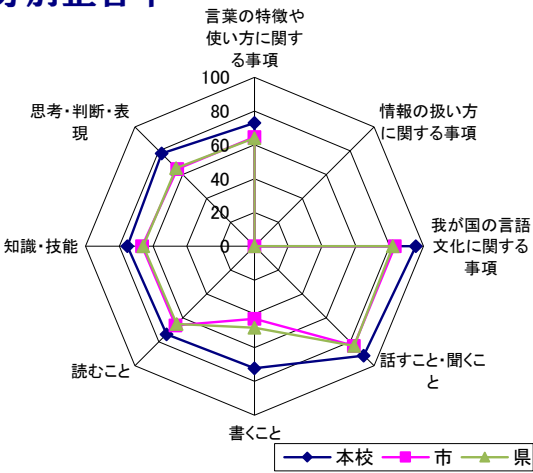


宇都宮市立桜小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方にに関する事項	73.0	64.7	64.1
	情報の扱い方にに関する事項	0.0	0.0	0.0
	我が国の言語文化にに関する事項	95.5	83.1	81.9
	話すこと・聞くこと	91.5	83.3	83.4
	書くこと	72.2	42.8	48.2
	読むこと	73.6	66.1	65.1
観点	知識・技能	75.2	66.5	65.9
	思考・判断・表現	77.7	64.6	65.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方にに関する事項	平均正答率は、市や県の平均より高い。 ○第4学年で学習した漢字の読み書きや熟語の組み合わせの正答率が県・市よりも高いか同程度である。特に、熟語の漢字の組み合わせを選ぶ問題では、市の平均正答率を28.4ポイント、県の平均正答率を22.9ポイント上回った。	・定着を図るために、漢字の学習に繰り返し取り組んだり、定期的に小テストなどを実施したりする。 ・熟語について、漢字の組み合わせを理解させることで意味を捉えるだけでなく、自分の表現に用いることができるよう指導していく。
我が国の言語文化にに関する事項	平均正答率は、市や県の平均より高い。 ○ことわざの使い方を理解し、正しく使っている文を選ぶ問題では、市の平均正答率を12.4ポイント、県の平均正答率を13.6ポイント上回った。	・教室に本を置くなど、慣用句に触れる機会を増やしたり、慣用句クイズなどの学習を意図的に取り入れたりしながら、自分の表現の中に定着させていく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市や県の平均より高い。 ○話し手が話した内容を説明した文として適するものを選ぶ問題では、市の平均正答率を9.7ポイント、県の平均正答率10ポイント上回った。	・話し合う活動の機会を増やすと共に、話し合いの仕方やポイントを明確に示したり、自分の考えと友達の考えの共通点や相違点を意識しながら書いてまとめる活動をしたりすることで、話し合いの面白さや良さを感じられるようにしていく。
書くこと	平均正答率は、市や県の平均より高い。 ○アンケート調査の結果から読み取ったことを書く問題では、市の平均正答率を31.3ポイント、県の平均正答率を25.0ポイント上回った。	・各教科において、自分の考えを書く活動や振り返りを書く活動を増やしていく。 ・条件を設定し、条件に沿った文を書く学習を増やしていく。 ・読み取った内容について自分の考えをまとめる際には、情報の整理の仕方や自分の考えのまとめ方、文章の組み立て方などを具体的に示し、進んで書く活動に取り組めるように指導していく。
読むこと	平均正答率は、市や県の平均より高い。 ○文章の内容をまとめた文の空欄に適する言葉を書く問題では、市の平均正答率を18.3ポイント、県の平均正答率を17.4ポイント上回った。 ●場面の様子について、発言者を捉えることができるかを問う問題では、市の平均正答率を5.3ポイント、県の平均正答率を3.8ポイント下回った。	・文章を読み取る際には、キーワードとなる言葉や登場人物の心情の変化に着目させたり、段落やまとめ、場面の移り変わりなどに注意したりしながら読み取るよう指導していく。 ・読書の時間を確保するとともに、幅広い分野の本に触れることができるような機会を増やしていく。